



わたしたち「子育てアドバイザー」です。



田宮子育て出張広場(第2・4火曜日)の様子と「牛久市子育て支援シンボルマーク」のバッチをつけた子育てアドバイザー(左写真)

特集

子育て広場

安心して子どもを育てることができるよう
地域で支援の輪が広がっています

5月5日は子どもの日。市内では3日に「うしく・鯉まつり」が開催されるなど、5月は家族連れが参加できるイベントが目白押し。「子育て・教育日本一」を掲げる牛久市では、安心して子どもを産み育てることができるよう、さまざまな子育て支援を行っています。

4月からは「子ども・子育て支援新事業」がスタート。事業のひとつ、「利用者支援事業」では、「子育て支援シンボルマーク」をつけた職員が「子どものことについて、どの窓口にいいたらいいか分からない」「子育てについて相談したいけれど、どこに相談したらいいか分からない」「などの相談に応じ、助言や関係機関との連絡調整を行っています。また、子育てに関する情報満載のポケットガイドも作成中です。

市の子育て支援

市では、子育て世帯の経済的負担を軽減するため、不妊治療の一部助成や中学3年生(15歳以下)までの医療費の一部負担金助成、保育園の一時預かり、児童



1



あべい台や
ベンチもあるよ♪

牛久市子育て
ポケットガイド



牛久市子育て支援
シンボルマーク



ようこそ子育て広場へ

市内には親子で一緒に遊び、お友達作りや情報交換もできる子育て広場として「すくすく広場」、「のびのび広場」のほか、出張広場として「リフレ子育て出張広場」があります。本年4月にはこれら広場に加え、「牛久運動公園子育て出張広場」と「田宮子育て出張広場」の2カ所が新たにオープンしました。

田宮子育て出張広場

3月24日、牛久駅西側にある住宅街の一角、「二小



2



区地区社会福祉協議会（以下「二小学区地区社協」）事務所で「田宮子育て出張広場」が4月スタートに先駆け3月にプレオープン。広場は、母親と元気な子どもたちで活気づき、保育士などの資格を持つ「子育てアドバイザー」が訪れた母親の子育てに関する不安や質問に丁寧に応えていました。広場を訪れた市内在住の田所真奈美さんと木南由梨江さんは、共に1歳9カ月のお子さんがいるママ友同士。「いつもは週1回くらいペースで、女化町にある



3

- 1 「田宮子育て出張広場」（所在地：牛久市田宮町366-1 二小学区地区社協）は第2・第4火曜日開催。乳幼児でも安全に遊べる芝生広場で遊ぶ子どもたち。
- 2 芝生広場ベンチの様子。同広場の芝をはった地域の皆さん。
- 3 二小学区地区社協事務所では、中央図書館の図書がパソコンで検索でき、貸出・返却も可能（上写真左）。また、第2金曜、第4火曜日にパンの販売（上写真右）も行っている。

牛久二小地区まちづくり協議会は、市や牛久警察署、牛久消防署、牛久第二小学校などのほか、二小学区地区社協、行政区、子ども会、民間企業、学識経験者などで構成。多世代が交流する地域を目指しつつ、社会実験を実施中。地域の「交流空間の充実」や「かっぱ号バス停の環境整備」など生活環境の検討、改善を目指している。

地域が一丸となって

『のびのび広場』を利用しています。子どもたちが遊べる場所がまたひとつ増えて嬉しい」と楽しそうに話してくれました。

「田宮子育て出張広場」は、「牛久二小地区まちづくり協議会」が実施中の社会実験の一環でもあります。二小学区地区社協の有泉吉昌

さん（同協議会メンバー）は「子どもたちはもちろん、幅広い年代の方が交流できる空間作り、生活環境の充実を目指し、さまざまな社会実験を始めています。多くの方に気軽に立ち寄っていただきたいと思いますね」と話します。全国的に少子超高齢化が問題視されるなか、牛久市では地域全体で子育てを支援する輪が広がっています。